



平成 26 年 5 月 22 日

各 位

会 社 名 株式会社サンセイランディック
代 表 者 名 代表取締役社長 松崎 隆司
(コード番号：3277、東証第二部)
問 合 せ 先 専 務 取 締 役 松浦 正二
(TEL. 03-3295-2200)

2013年度『田中啓一賞』受賞のお知らせ

この度、当社の「底地・居抜き物件（老朽化した賃貸中の物件）などの不動産権利調整事業」が田中啓一賞を受賞いたしましたのでお知らせいたします。

同賞は、公益社団法人日本不動産学会により2011年に設立され、不動産についての実務または政策形成に関して積極的でユニークな活動を行い、成果を収めたと認められる個人または団体に対して、春および秋の年2回表彰されるものであります。

この度、以下の受賞理由のもと同賞を受賞いたしました。

【「田中啓一賞」受賞理由】（公益社団法人日本不動産学会プレスリリース参照）

ひとつの不動産に関して、地主や借地権者、借家権者といった複数の権利者が存在することで、様々な問題が存在している。

授賞会社は、底地を取得し、権利調整を行ったうえで借地権者へ売却、借地権を取得し底地権者へ売却するなど、権利を1つにすることで資産価値を高めていく。また、老朽化し、空室の多くなった賃貸物件（以降、「居抜き物件」）を取得し借家権者と明渡交渉の後、建物を解体し更地にすることで不動産の再生を行う。賃貸借契約の地代收納代行や更新契約の支援などの事業をおこなっている。

20年以上権利調整ビジネスを専門に行ってきた中で培ってきたノウハウの活用で、上記のような様々な問題を抱えた不動産の再生を図り、それにより東証第二部上場を果たすなど高く評価されており、田中啓一賞授賞に値する。

1. 底地や借地、居抜き物件買取などでは、それぞれの権利者との信頼関係を大切にし、WIN-WIN-WINの関係を築いている。
2. 底地・借地の問題も居抜き物件の問題も、それぞれの権利者が相互に困っている状態にあり、それがまた、社会でも解決されることが望まれており、各権利者の立場に立って問題解決をしている。
3. それがビジネスとしても成り立つように実績を積み上げており、過去4年で、全国で取扱い面積が約12万坪、借地・借家権者約2,300名に達している。

【公益社団法人日本不動産学会について】

昭和58年(1983年)、建設省建設経済局の協力のもとに設置された「不動産関係教育問題検討委員会」の提言を機に、昭和59年(1984年)11月、産・官・学の各界から設立発起人296名の構成員をもって任意の学術団体として設立されました。

1. 不動産の利用や配置をめぐる諸現象を解明する学術的な研究及び教育の促進
2. 不動産に関する研究が総合的な視野に立って体系的に固有の学問として確立することが重要
3. 不動産を対象とする学問は、人文、科学、社会科学、自然科学の広範な領域に及ぶことから、その研究は理論・実務の両面から総合的に研究すること

これらが、設立趣意書の大きな柱とされています。

学術講演会、シンポジウム開催、機関誌刊行、学会賞・業績賞の表彰による研究奨励、不動産に関する研究調査等を実施し、総合科学として不動産学の理論的、実証的研究成果を基礎に、学会として社会的責任を果たしてきたこと等が評価され、平成12年(2000年)、文部科学省認可の社団法人日本不動産学会として発足し、平成25年(2013年)、公益社団法人日本不動産学会に移行しました。

以 上